

令和4年第19回 議会運営委員会 会議結果

令和4年11月22日(火) 09:00～09:14 第1委員会室

《出席者》永井 委員長（兼 公明党代表）、清水 勇 副委員長（兼 会派きぼう代表）、
清水 優一郎 委員 竹村 委員、小林 委員、木下 委員、熊谷 委員（兼 新政いいだ代表）、
原 委員（兼 会派みらい代表）、井坪 議長、山崎 副議長、古川 委員外議員（日本共産党代表）

【○説明事項 □意見 ★確認事項 ◎会派検討依頼事項】

1 令和5年度議会費について

★説明のとおり確認

- 資料No. 1 「令和5年度議会費の当初予算要求の概要」に基づき事務局から説明。
- 財政課からの指示に従い、令和5年度の特殊要因を含めて積算事務を進めてきた。
正副議長への説明、11月1日の拡大委員長会などで、市の方針、特殊要因について説明し、委員会活動に必要な経費のヒアリングを進めてきた。
- 「市議会における4つのビジョンの実現を目指して」と題し、地方議会評価モデルの取り組み、これまでの議会活動の取り組みなどである程度全議員で共有化している内容を議会活動の見える化の視点から事業という設定で、主に4項目をまとめた。
 - 1 委員会を主体とした政策サイクルの実現
 - 2 開かれた議会運営のための情報発信
 - 3 地方議会評価モデルに基づく新たな取り組み/新規
 - 4 議会力を高めるための研鑽・政策立案能力の向上
- その他、議長会等による要望活動・議員間の情報交換、災害と向き合うことができる政策議会の実現もポイントとしている。
- 昨年度からの増額分の主なものとして、議会評価モデルに基づく新たな取り組み、議員研修の充実に関する費用として、議会改革の第2ステージのキックオフ講演会、一般質問、政策立案に係る研修の経費、正副議長改選に伴う経費、伊那谷三市連絡協議会の運営に伴う経費などを計上した。
- 令和5年度は、総務委員会と社会文教委員会が2泊3日、産業建設委員会と議会運営委員会が1泊2日、リニア推進特別委員会と議会改革推進会議が日帰りの管外視察を予定している。
- 昨年度からの減額分としては、三遠南信関連会議開催事業に必要な経費の減額、常任委員会等管外視察旅費の減額がある。
- 特殊要因提出後の増額分として、会議録調整委託料、地方議会評価モデル導入に係る市民への説明用として、議会だより臨時号の発行費用がある。

○現状では、令和5年度予算要求上限額を509千円超えているが、可能な限り予算確保に努めてまいりたい。

2 分科会での分担について

★説明のとおり確認

○資料No. 2-1「令和4年第4回定例会 予算決算委員会 分科会審査分担（案）」及び資料No. 2-2「議案第101号 令和4年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案 分科会審査分担表（案）」に基づき事務局から説明。

○産業建設分科会が審査を分担する「令和4年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案」の「2款 総務費 1項 総務管理費 17目 リニア推進事業費」について、産業建設・リニア推進連合会議にて審査を行う。

○最終的には、本日開催の本会議後に予定する予算決算委員会前期全体会で分科会への付託を行う際に、委員に確認していただく。

3 その他

★当面の日程について確認